一般社団法人 全日本シーエム放送連盟
〒105-0003 港区西新橋 2-4-2 西新橋安田ﾕﾆｵﾝﾋﾞﾙ 6F TEL 03-3500-3261

「2017 57th ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」概要

本アワードは、1961 年に創設された「ACC CM FESTIVAL」を前身とし、これを継承する形で 2017 年より「ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」に名称を変更し開催。わが国で最も規模が大きく、権威のあるアワードの一つとして知られています。
2017 年 6 月 1 日（木）～7 月 3 日(月)にかけて作品を募集（4 部門延長）し、6 部門合計で 2,641 本の応募がありました。

各部門の最終全国審査会は 9 月初旬～中旬に実施し、それぞれの分野で日本を代表する審査委員が厳正な審査を行いました。
■各部門審査委員紹介
http://www.acc-awards.com/juries/

【2017 年度 応募本数内訳】
フィルム部門：1,541 本（A カテゴリー1,139 本・B カテゴリー402 本）
ラジオ CM 部門：572 本
マーケティング・エフェクティブネス部門：87 本
インタラクティブ部門：184 本
メディアクリエイティブ部門：148 本
クリエイティブイノベーション部門：109 本

【贈賞式・記念パーティについて】
総務大臣賞／ACC グランプリをはじめとする入賞作品の贈賞式・記念パーティは、2017 年 11 月 1 日（水）に東京・溜池の ANA インターコンチネンタルホテル東京にて行われます。

【入賞作品発表会（東京発表会）について】
入賞作品は、11 月 22 日（水）の東京発表会（イイノホール＆カンファレンスセンター）を皮切りに、全国 30 ケ所で上映・公開します。

■名称　：2017 57th ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS　入賞作品発表会
■日時　：2017 年 11 月 22 日（水）13:00-16:30　（12：30 開場）
■場所　：イイノホール＆カンファレンスセンター
〒100-0011　東京都千代田区内幸町 2-1-1 飯野ビルディング
■アクセス：東京メトロ 日比谷線・千代田線「霞ケ関」駅 C4 出口直結
都営地下鉄 三田線「内幸町」駅 A7 出口 徒歩 3 分
東京メトロ 銀座線「虎ノ門」駅 9 番出口 徒歩 3 分　ほか
■入場料　：2,000 円（税込）
■券売方法：「チケットぴあ」にて 10 月中旬より発売予定（P コード：637-184）

※各地域で行われる発表会の詳細は、決定次第 ACC ホームページに掲載します。

一般社団法人 全日本シーエム放送連盟
〒105-0003 港区西新橋 2-4-2 西新橋安田ﾕﾆｵﾝﾋﾞﾙ 6F TEL 03-3500-3261

■フィルム部門　A、B カテゴリー概要

【審査対象】

A カテゴリー：2016 年 7 月 1 日～2017 年 6 月 30 日までに一般社団法人日本民間放送連盟加入の放送局で初めて放送された CM。

B カテゴリー：2016 年 7 月 1 日～2017 年 6 月 30 日までの間に、Web 上で公開されている映像広告。初公開日は問わない。

【地域審査会】8 月初旬に 7 都市（札幌、秋田、新潟、名古屋、大阪、高知、熊本）で実施。

【全国審査会】一次審査：8 月 24 日（木）～9 月 4 日（月）、最終審査会：9 月 14 日（木）、15 日（金）

【入賞内訳】

フィルム A カテゴリー （応募総数 1,139 本）	総務大臣賞/ACC グランプリ	1
	ACC ゴールド	10
	ACC シルバー	10
	ACC ブロンズ	22
	地域賞	7
	ACC ファイナリスト	40
	ACC 地域ファイナリスト	98

フィルム B カテゴリー （応募総数 402 本）	総務大臣賞/ACC グランプリ	1
	ACC ゴールド	3
	ACC シルバー	3
	ACC ブロンズ	9
	ACC ファイナリスト	11

※以下、二重カッコ内作品情報は、『広告主／商品名／題名』の順番。

【フィルム部門 入賞作品について】

A カテゴリー「地域賞」では、ACC ゴールドにも選出された、中国・四国地域の『ムラタ／村田葬儀社／旅立ち 男性／旅立ち 女性』をはじめ、計 7 地域・7 作品が選出されました。

また、B カテゴリーの総務大臣賞／ACC グランプリ『ソニー・インタラクティブエンタテインメント／GRAVITY DAZE 2／GRAVITY CAT』ほかを手掛けた柳沢翔氏にディレクター賞が、A カテゴリーの総務大臣賞／ACC グランプリ『住友生命保険／1UP／「海外、向こうで 1ＵＰ 入国審査官の証言」篇他、計 5 篇』では竹原ピストル氏に主題歌賞が、ACC ゴールド『GINZA SIX リテールマネジメント／GINZA SIX／GINZA SIX メインストリート篇』では椎名林檎氏に音楽賞が贈られるなど、個人へのクラフト賞も決定しました。

CM の企画力、アイデアのチカラを持つ「若手制作者個人」へエールを送るため、CM プランナーという日本にしかない職業を創始し発展させた歴史的存在である小田桐昭氏の名前を冠した、「小田桐昭賞」(2013 年制定)では、B カテゴリーで総務大臣賞／ACC グランプリを受賞した『ソニー・インタラクティブエンタテインメント／GRAVITY DAZE 2／GRAVITY CAT』などを手掛けた、奥山雄太氏が受賞しました。

一般社団法人 全日本シーエム放送連盟
〒105-0003 港区西新橋 2-4-2 西新橋安田ﾕﾆｵﾝﾋﾞﾙ 6F TEL 03-3500-3261

■ラジオ CM 部門 概要

【審査対象】 2016 年 7 月 1 日～2017 年 6 月 30 日までに一般社団法人日本民間放送連盟加入放送局で初めて放送された CM。
【地域審査会】 8 月初旬に 7 都市（札幌、秋田、東京、名古屋、大阪、高知、熊本）で実施。
【全国審査会】 9 月 7 日（木）、8 日（金）

【入賞内訳】

ラジオ CM （応募総数 572 本）	総務大臣賞/ACC グランプリ	1
	ACC ゴールド	2
	ACC シルバー	4
	ACC ブロンズ	11
	ACC ファイナリスト	33
	ACC 地域ファイナリスト	47
	アンダー29	11

【ラジオ CM 部門入賞作品について】
総務大臣賞／ACC グランプリは、『大日本除虫菊／おでかけカトリス・蚊がいなくなるスプレー・プレシャワー・虫よけキンチョール・キンチョール／金鳥少年 2017 その 1～5」が、昨年に続き、2 年連続での受賞となりました。
優れた作品を手掛けた 29 才以下の主制作者に贈る「アンダー29 賞」では、『トモエシステムズ／トモエグループ／ボンコバラトモエさん①～③ 』の福居亜耶氏をはじめとする、7 氏・11 作品が受賞しました。また、クラフト賞では、ACC ゴールド『パナソニック／全自動おそうじトイレアラウーノ／日本男児のトイレ事情「井村さん」篇、同・「三田村さん」篇、同・「土方さん」篇』を手掛けた、佐藤朝子氏、森田一成氏にディレクター賞が、また、前述の大日本除虫菊（総務大臣賞／ACC グランプリ）の作品に登場する、野田琴乃氏（高山さん役）、山隈祐太郎氏（大沢くん役）、遠岳大河氏（後藤くん役）、トモエシステムズ（ACC ゴールド）の作品に登場する盆子原巴氏が、それぞれタレント賞を受賞しました。

■マーケティング・エフェクティブネス部門 概要

【審査対象】
戦略的かつ効果的な広告活動を展開した企画で、2016 年 7 月以降も継続している企画（キャンペーン）であること。2016 年 7 月 1 日～2017 年 6 月 30 日の間に、一般社団法人日本民間放送連盟に加入している放送局において当該キャンペーンのテレビもしくはラジオ CM が放送されている、もしくは同期間に、Web 上で当該キャンペーンのムービー及びサウンドコンテンツが公開されていること。
【審査会】 1 次審査：7 月 12 日（水）～25 日（火）、2 次審査会：8 月 1 日（火）
最終審査会：9 月 12 日（火）

【入賞内訳】

マーケティング・エフェクティブネス（応募総数 87 本）	総務大臣賞/ACC グランプリ	1
	ACC ゴールド	1
	ACC シルバー	2
	ACC ブロンズ	4
	ACC ファイナリスト	12

【マーケティング・エフェクティブネス部門 入賞作品について】

「規模には関係ない優れたマーケティング戦略と、効果的なクリエイティブ、表現によって、大きな市場的成果をあげた統合キャンペーン」を対象とする本部門では、総務大臣賞／ACC グランプリに『九州全県・山口県・沖縄県／ワーク・ライフ・バランス推進／九州・山口 ワーク・ライフ・バランス推進キャンペーン』が、ACC ゴールドに『UQ コミュニケーションズ／UQ モバイル／「UQ 家族」シリーズ』が受賞しました。

なお、本部門では、8 月 4 日（金）にファイナリストとして全 20 作品の発表を行い、9 月の最終審査会にて各賞を決定しました。

■インタラクティブ部門　概要

【審査対象】2016 年 6 月 1 日～2017 年 6 月 30 日の間にローンチもしくはリニューアルして展開されたすべてのインタラクティブ広告・広告的取り組みを対象とする。

【審査会】 オンライン一次審査 8 月 10 日（木）～8 月 23 日（水）、最終審査会 9 月 5 日（火）

【入賞内訳】

インタラクティブ（応募総数 184 本）	総務大臣賞/ACC グランプリ	1
	ACC ゴールド	2
	ACC シルバー	4
	ACC ブロンズ	7
	ACC カテゴリー賞	14

【インタラクティブ部門入賞作品について】

「すべてのインタラクティブ広告・広告的取り組み」を対象とする本部門では、総務大臣賞／ACC グランプリに、『東京都／東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会／リオ 2016 オリンピック大会閉会式東京 2020 フラッグハンドオーバーセレモニー』が受賞しました。

14 のカテゴリー別に秀でた作品を評価するカテゴリー賞では、「マスメディア×インタラクティブ賞」に『サントリーホールディングス／サントリーチューハイほろよい／ほろよいエリカ電話』ほか、13 賞・14 作品が選出されました。また、クラフト賞では、『日清食品ホールディングス／日清のどん兵衛／クリスチャンラッセン かき揚げを、描きあげる。』の作品で、クリスチャン・ラッセン氏が「イラスト（ART WORKS）」を受賞するなど、1 チーム・5 名が受賞しました。

一般社団法人 全日本シーエム放送連盟
〒105-0003 港区西新橋 2-4-2 西新橋安田ﾕﾆｵﾝﾋﾞﾙ 6F TEL 03-3500-3261

■メディアクリエイティブ部門 概要　※2017 年度新設

【審査対象】
メディアのアセットを活用したクリエイティビティにより、新たな情報発信・コミュニケーションを実現し、広告主の課題解決に貢献した仕掛けや取り組みを評価する。2016 年 1 月 1 日から 2017 年 6 月 30 日の間に実施された放送、または出稿されたものを対象に審査。
【審査会】オンライン一次審査 8 月 8 日（火）～24 日（木）、最終審査会　9 月 6 日（水）
【入賞内訳】

メディアクリエイティブ（応募総数 148 本）	総務大臣賞/ACC グランプリ	0
	ACC ゴールド	3
	ACC シルバー	4
	ACC ブロンズ	5
	ACC ファイナリスト	9
	特別賞:エリア&コミュニテイ賞	4

※以下、二重カッコ内作品情報は、『エントリータイトル／媒体社／広告主』の順番。
【メディアクリエイティブ部門 入賞作品について】
「メディアのアセットを活用したクリエイティビティにより、新たな情報発信・コミュニケーションを実現し、広告主の課題解決に貢献したもの」を対象とした本部門において、創設初年度は、総務大臣賞／ACC グランプリは、「該当なし」という結果になりました。
なお、ACC ゴールドには、『歩くーぽん／琉球放送／琉球放送』、『INTERACTIVE LiVE CM／日本テレビ放送網／キリンビール』、『オロナミン C『20 年分のありがとう新聞』／朝日新聞社／大塚製薬』の 3 作品が、また、特別賞の「エリア&コミュニティー賞」には、『LEXUS NEW TAKUMI PROJECT／全国 50 紙／トヨタ自動車』など計 4 作品が選出されました。

■クリエイティブイノベーション部門　概要　※2017 年度新設

【審査対象】
未来を作り出す、世の中を動かす可能性のあるアイデアとテクノロジーとの掛け算で生み出されたプロダクト&サービスとプロトタイプが対象。2016 年 1 月 1 日から 2017 年 6 月 30 日の間に上市または社会実装されたプロダクト&サービスおよび同期間に生み出されたプロトタイプであること。
【審査会】 オンライン一次審査 7 月 10 日（月）～19 日（水）、二次審査会 7 月 25 日（月）
最終審査会(公開)　9 月 11 日（月）
【入賞内訳】

クリエイティブイノベーション（応募総数 109 本）	総務大臣賞/ACC グランプリ	1
	ACC ゴールド	1
	ACC シルバー	1
	ACC ブロンズ	2
	ACC ファイナリスト	15

一般社団法人 全日本シーエム放送連盟
〒105-0003 港区西新橋 2-4-2 西新橋安田ﾕﾆｵﾝﾋﾞﾙ 6F TEL 03-3500-3261

※以下、二重カッコ内作品情報は、『エントリータイトル／応募団体』の順番。

【クリエイティブイノベーション部門 入賞作品について】

対象期間（2016 年 1 月 1 日～2017 年 6 月 30 日）に上市または社会実装された「プロダクト&サービス」および、同期間に生み出された「プロトタイプ」を対象とした本部門では、9 月 11 日（月）、ヤフーのオープンコラボレーションスペース「LODGE」にて、最終公開プレゼンテーション審査会を実施しました。

その結果、初代 総務大臣賞／ACC グランプリには『COGY/あきらめない人の車いす／TESS、東北大学、M2 デザイン、TBWA＼HAKUHODO』が、また ACC ゴールドは、『服づくり 4.0「WE ARE」／シタテル』が受賞しました。なお、ファイナリストを含む入賞作品については、9 月 12 日（火）に、報道発表を行っております。

以上